

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	松繁 弘之	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要
 主題は日本語能力試験N2レベルの文法である。『日本語総まとめN2文法』で取り上げられている文法項目の意味・用法を理解して作文の練習をする。

到達目標
 到達目標は大学の講義を理解し、レポートを正確な日本語で書くことができるようになることである。

提出課題
 提出課題は毎回授業で使用するワークシート(授業終了時に提出)である。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法
 ワークシートに質問欄を設け、それについて次回の授業で説明する。また、小テストなどで間違いが多いところなどについても説明する。

評価の基準
 ワークシート(40%)と小テスト(60%)を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他
 次のことに注意してもらいたい。
 ・毎回授業開始時に出席を確認する。15分以上の遅刻は欠席となること
 ・5回以上の欠席は単位を取得できなくなる
 ・教室のマナー(私語、飲食、SNSなど)を守ること
 ・予言と復習を怠らぬこと

教科書
 ・使用しない。

参考図書
 ・日本語総まとめN2文法、佐々木仁子・松本紀子、アスク出版、1320、9784866394886

その他
 必要に応じてプリントを配布する。

授業計画
 1.ガイダンス(授業内容、方法、評価、注意)
 2.文法項目「げ」-「は抜きにして」
 3.文法項目「でたまらない」-「でばかりはいられない」
 4.文法項目「かいがあって」-「に限り」
 5.文法項目「さえあれば」-「にしたがって」
 6.文法項目「とおり」-「たかと思つたら」
 7.文法項目「ところ」-「一方」
 8.文法項目「上に」-「にかかわって」
 9.文法項目「ながら」-「にわたって」
 10.文法項目「っこない」-「だけあって」
 11.文法項目「だけあって」-「のでで」
 12.文法項目「以来」-「にかけては」
 13.文法項目「をか」-「にて」
 14.文法項目「をかまわず」-「ものか」
 15.文法項目「を中心に」-「際に」

授業形態(アクティブ・ラーニング)

○ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
 予習(2時間):学習する文法項目の意味・用法を調べておく。
 復習(2時間):学習した文法項目の意味・用法を確認する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
 この科目を受講することで、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、正確で適切な日本語を用いて収集・調査、整理することができる素養が身につく。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考